

**製品名: PKIG ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16218**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	PKIG
別名	cAMP-dependent protein kinase inhibitor gamma (PKI-gamma)
遺伝子 ID	11142.0
SwissProt ID	Q9Y2B9
免疫原	ヒト PKIG 由来の合成ペプチド AA 範囲: 1-80

**背景**

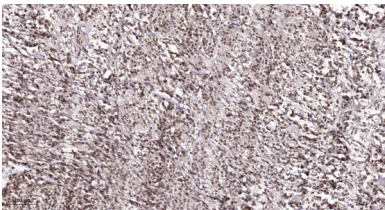
この遺伝子は、タンパク質キナーゼ阻害因子ファミリーのメンバーをコードしています。マウスにおける類似タンパク質の研究では、このタンパク質が強力な競合的 cAMP 依存性タンパク質キナーゼ阻害因子として作用し、様々な組織において主要な阻害因子で

あることが示唆されています。コードされているタンパク質は骨形成に関与している可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2013 年 7 月]機能: cAMP 依存性タンパク質キナーゼ活性に対する極めて強力な競合的阻害因子であるこのタンパク質は、cAMP 誘導による調節鎖の解離後、酵素の触媒サブユニットと相互作用します。類似性: PKI ファミリーに属します。組織特異性: 普遍的です。、

## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°C で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。